



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月17日

上場会社名 NBC株式会社 上場取引所 東証二部
 コード番号 3534 URL <http://www.nbc-jp.com>
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 石塚 昭夫
 問合せ先責任者 役職名 取締役管理部長 氏名 阿部 仁 TEL 042(582)2411

(百万円未満切捨)

1. 平成20年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	3,634	(1.8)	498	(11.2)	524	(0.6)	313	(1.7)
19年3月期第1四半期	3,571	(6.7)	561	(2.9)	521	(3.2)	319	(4.7)
19年3月期	13,436		2,078		2,056		1,248	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	34	95	-	-
19年3月期第1四半期	35	57	-	-
19年3月期	139	14	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年3月期第1四半期	21,480		18,153		84.4		2,020	33
19年3月期第1四半期	20,583		17,272		83.8		1,922	40
19年3月期	22,178		18,235		82.1		2,029	48

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	230	587	358	5,271
19年3月期第1四半期	136	129	358	5,981
19年3月期	1,179	986	359	6,450

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
基準日	第1四半期末	
	円	銭
20年3月期第1四半期	-	-
19年3月期第1四半期	-	-

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

為替レートの変動が当社業績に影響を与える可能性はありますが、現在のところ業績予想の変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. その他をご覧ください。〕

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における世界経済を概観しますと、米国経済は住宅投資の減少等による景気の減速懸念が広まっているものの、個人消費が増加していることもあり堅調に推移しております。欧州経済は生産や消費の増加を背景に緩やかではありますが、回復しております。また、アジア経済は中国で景気は引き続き拡大が続いており、その他地域でも総じて景気回復の動きが広がっております。一方、我が国経済も、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加や個人消費の堅調さ、又雇用情勢の改善などにより、景気は回復基調で推移いたしております。

このような経済環境の中、当社製品の得意先関連業界の状況であります。プリント基板業界は、片面基板については生産の海外移転や製品価格の下落、原材料価格の上昇が続く、依然厳しい状況であります。また自動車部品業界では、国内外の自動車生産が増加していることから堅調に推移しております。

得意先関連業界のこのような事業環境の下で、当社グループは、海外市場への積極的な展開、国内市場の販売力強化、研究開発体制の充実、生産・購買部門における徹底したコストダウンを進めてまいりました結果、スクリーン印刷用資材及び化成品の家電用途の売上減少はありましたが、産業用資材の売上増加により、連結売上高は36億3千4百万円（前期比1.8%増）となりました。営業利益につきましては、引き続き生産革新運動に努めておりますが、化成品の販売価格の下落、原油価格の高騰に伴う原材料価格等の上昇及び販管費・研究開発費など経費の増加により、4億9千8百万円（前期比11.2%減）と減益になりました。営業外収益及び費用については、インドネシアルピアの為替変動により、前期は差損でありましたが当期は差益計上になり、全体では前期比6千5百万円の増益で、経常利益は5億2千4百万円（前期比0.6%増）、当期純利益は3億1千3百万円（前期比1.7%減）となりました。

（スクリーン印刷用資材）

当社グループの主力製品であるスクリーン印刷用メッシュクロスは、国内において、片面基板生産の減少の影響、一般印刷業界の低迷などにより減少いたしました。海外においては、競争の激化や債権保全を優先した販売政策をとっていることもあり、欧州は売上を伸ばしましたが、北米、中国を含めたアジアでの売上は減少いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は12億6千3百万円（前期比13.0%減）、営業利益は2億4千1百万円（前期比21.1%減）となりました。

（産業用資材）

産業資材用途としては、濾過布用、携帯電話用、メディカル用、印刷OA用など既存分野に加え、当社の加工技術を応用した新規開発製品であるPDP・液晶テレビのスピーカークリル用途は順調に売上を伸ばしました。防虫網は、競争激化により減少いたしました。機能性無機ナノ粒子を固定化する技術「Nafitec」を駆使した、環境にやさしい高機能防虫網「アミドロジーシリーズ」は好調に推移しております。

以上の結果、当セグメントの売上高は13億4千6百万円（前期比20.8%増）、営業利益は1億5千1百万円（前期比11.1%増）となりました。

（化成品）

自動車用フィルターは、ABS用（アンチロックブレーキシステム）、インジェクター用、カークーラー用フィルターを中心として引き続き順調に推移しております。家電用フィルターについては、各用途とも減少いたしました。営業利益については、自動化の推進、生産性の向上に努めましたが、販売価格の下落等により減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は9億円（前期比1.1%減）、営業利益は8千3百万円（前期比20.9%減）となりました。

（その他）

その他については、養殖用生簀（いけす）金網の販売回復により、売上高は1億2千4百万円（前期比30.9%増）、営業利益は2千1百万円（前期比66.0%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は214億8千万円、純資産は181億5千3百万円、自己資本比率は84.4%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動においては主に売上債権の増加、法人税等の支払により2億3千万円を使用し、投資活動においては有形固定資産の取得等により5億8千7百万円の資金を、又財務活動においては配当金の支払で3億5千8百万円をそれぞれ使用いたしました。

これらの結果当四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は52億7千1百万円となり、前連結会計年度末と比較し11億7千8百万円減少いたしました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無
法人税等の計上基準等については簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無
該当事項はありません。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1.現金及び預金	5,981	5,271	710	11.9	6,450
2.受取手形及び売掛金	4,207	4,446	238	5.7	4,266
3.たな卸資産	3,081	3,623	542	17.6	3,510
4.その他の流動資産	559	576	17	3.1	515
流動資産合計	13,830	13,918	88	0.6	14,743
固定資産					
1.有形固定資産	6,161	6,904	742	12.1	6,792
2.無形固定資産	44	44	0	0.9	44
3.投資その他の資産	546	613	66	12.3	596
固定資産合計	6,752	7,562	809	12.0	7,434
資産合計	20,583	21,480	897	4.4	22,178
(負債の部)					
流動負債					
1.支払手形及び買掛金	991	887	103	10.5	1,009
2.未払金	285	360	75	26.3	595
3.未払費用	206	201	5	2.6	331
4.未払法人税等	206	182	24	11.7	400
5.その他の流動負債	130	140	9	7.0	60
流動負債合計	1,821	1,772	48	2.7	2,398
固定負債					
1.退職給付引当金	1,333	1,383	50	3.8	1,372
2.役員退職慰労引当金	33	-	33	-	37
3.その他の固定負債	121	170	48	39.9	134
固定負債合計	1,488	1,554	65	4.4	1,544
負債合計	3,310	3,326	16	0.5	3,942
(純資産の部)					
株主資本					
株主資本合計	17,291	18,175	884	5.1	18,221
評価・換算差額等					
評価・換算差額等合計	40	46	5	13.4	9
新株予約権 少数株主持分					
少数株主持分	21	24	2	10.3	23
純資産合計	17,272	18,153	880	5.1	18,235
負債、純資産合計	20,583	21,480	897	4.4	22,178

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
売上高	3,571	3,634	62	1.8	13,436
売上原価	2,315	2,382	66	2.9	8,614
売上総利益	1,255	1,252	3	0.3	4,821
販売費及び一般管理費	694	753	59	8.5	2,743
営業利益	561	498	62	11.2	2,078
営業外収益	16	30	14	92.4	46
営業外費用	55	4	51	91.9	68
経常利益	521	524	3	0.6	2,056
特別利益	1	1	0	0.0	24
特別損失	0	4	3	-	16
税金等調整前四半期(当期)純利益	523	522	0	0.2	2,064
税金費用	203	207	3	1.8	814
少数株主利益	0	0	0	998.8	1
四半期(当期)純利益	319	313	5	1.7	1,248

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考)前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	136	230	1,179
投資活動によるキャッシュ・フロー	129	587	986
財務活動によるキャッシュ・フロー	358	358	359
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	2	12
現金及び現金同等物の増加額	622	1,178	153
現金及び現金同等物の期首残高	6,603	6,450	6,603
現金及び現金同等物の期末残高	5,981	5,271	6,450

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期(平成19年3月期第1四半期)

(単位：百万円)

	スクリーン 印刷用資材	産業用資材	化成品	その他	計	消去又 は全社	連結
売上高	1,451	1,114	910	94	3,571		3,571
営業費用	1,144	977	805	82	3,010		3,010
営業利益	306	136	105	12	561		561

当四半期(平成20年3月期第1四半期)

(単位：百万円)

	スクリーン 印刷用資材	産業用資材	化成品	その他	計	消去又 は全社	連結
売上高	1,263	1,346	900	124	3,634		3,634
営業費用	1,021	1,194	817	102	3,136		3,136
営業利益	241	151	83	21	498		498

(参考)前期(平成19年3月期)

(単位：百万円)

	スクリーン 印刷用資材	産業用資材	化成品	その他	計	消去又 は全社	連結
売上高	5,664	4,011	3,416	343	13,436		13,436
営業費用	4,520	3,474	3,056	306	11,357		11,357
営業利益	1,144	537	360	37	2,078		2,078